

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: しゅう酸二水和物(国産1級)

製品番号(SDS NO): D003851-1

供給者情報詳細

供給者: 国産化学株式会社

住所: 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署: 品質保証部

電話番号: 045-328-1715

FAX: 045-328-1716

e-mail address: cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先: 国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1

生殖毒性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(呼吸器)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(腎臓)

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 3

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

重篤な眼の損傷

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 口をすすぐこと。
 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

貯蔵

密閉容器に保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

化学物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	化学式
シュウ酸(二水和物)	99.5≤	6153-56-6	2-844	C2H6O6

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分

シュウ酸(二水和物)

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

シュウ酸(二水和物)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

シュウ酸(二水和物)

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

蒸気、ミスト、ガスを吸入しない事

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

ACGIH(2014) TWA: 1mg/m³

STEL: 2mg/m³ (上気道, 眼および皮膚刺激)

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：結晶

色：無色

臭い：無臭

pHデータなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点：101 - 102°C

比重/密度：1.65g/cm³

溶解度

水に対する溶解度：13 - 14 g/100 ml (20 °C)

溶媒に対する溶解度：エタノールに溶けやすく、エーテルに溶けにくい

n-オクタノール/水分係数：log Pow-0.81

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

加熱すると昇華する。

危険有害反応可能性

180~190°Cで分解、ギ酸、COおよびCO₂ガスを発生する。

銀と反応し爆発性物質を生成する。

酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

金属腐食性がある。

避けるべき条件

高温、加熱

混触危険物質との接触

混触危険物質

強塩基、強酸化性物質、銀化合物

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

rat LD50=375mg/kg(PATTY 5th,2001)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

rabbit(2000mg/kg)致命的では無い(not lethal)(PATTY 5th,2001)

急性毒性データなし

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

皮膚腐食性(JCSC(J),1996)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

眼腐食性(JCSC(J),1996)

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
生殖毒性
[日本公表根拠データ]
cat2.PATTY 5th,2001
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分2]
[日本公表根拠データ]
呼吸器(JCSC,1996)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
腎臓(PATTY 5th,2001)
特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)データなし
吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
水生生物に有害
水生毒性(急性)成分データ
[日本公表根拠データ]
甲殻類(オオミジンコ)EC50=15mg/L/48hr(環境省生態影響試験,1998)
水生毒性データなし
水溶解度
13 - 14 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2009)
残留性・分解性データなし
生体蓄積性
log Pow=-0.81 (ICSC, 2009)
土壌中の移動性データなし
オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
汚染容器及び包装
容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
番号 : 3261
品名(国連輸送名) :

その他の腐食性固体、酸性、有機物、N.O.S.
国連分類(輸送における危険有害性クラス): 8
容器等級: III
国連番号に該当しない
指針番号: 154
特別規定番号: 223; 274; A3; A803

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
劇物(第2条別表2)
シュウ酸(二水和物)99%(法令番号 49)
労働安全衛生法
有機溶剤等に該当しない製品
名称表示危険/有害物(令18条)
シュウ酸(二水和物)
名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)
シュウ酸(二水和物)
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法に該当しない。
船舶安全法
腐食性物質 分類8
航空法
腐食性物質 分類8

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2015 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。